

## ジャマイカ

### ブルーマウンテンコーヒー開発事業



本事業により導入されたコーヒー豆乾燥機

#### [ 借 款 概 要 ]

承諾額/実行額	5,941百万円 / 5,482百万円
借 款 契 約 調 印	1984年4月
借 款 契 約 条 件	金利4.25%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1997年4月

#### [ 事 業 概 要 ]

ジャマイカ東部のブルーマウンテン山系においてコーヒー農園を造成するとともに、処理施設の拡大を通じてコーヒー生産能力の向上を図り、農家所得と輸出収入の増加に寄与するもの。

#### [ 評 価 結 果 ]

本事業におけるコーヒー農園の開発は、1988年9月の大規模なハリケーンにより大きな被害を受け、さらに91年の経済危機の影響もあり、目標の3,500エーカーの造成が完成したのは当初計画から7年遅れの95年となった。また、コーヒー処理施設の建設も同様に遅延し、完成は10年遅れの97年となった。このため、事業範囲の見直しが必要となり、コーヒー処理施設が縮小された他、農園の社会インフラのうち、道路は計画通り建設されたが、住宅、学校等の公共施設は対象外となった。

事業完成後のコーヒーの作付面積は1998年の洪水被害により、翌99年には2,250エーカーまで減少し、コーヒー生産量も計画値を下回った。一方、コーヒー輸出に占めるブルーマウンテンのシェアは上昇しており、外貨獲得には相応の貢献をしたと言える。

なお、本事業により建設した農園や処理施設の維持管理状況については問題は見られない、今後、自然災害を受け易い地域の農業開発においては、同リスクを想定したより慎重な検討が望まれる。